

教育環境はもちろん、学生寮も充実!

小金井キャンパスの櫻寮(男子寮)、桜寮(女子寮)、府中キャンパスの楓寮(女子寮)に加え、府中キャンパスに111室の檜寮を新設しました。フロア別に男子、女子(留学生を含む)の受け入れがスタートしています。

CLOSE-UP! 府中キャンパス 檜寮



2016年秋にオープンしたばかりの檜寮。24時間管理人常駐でセキュリティも万全です

コンパクトなスペースに、シャワー室、トイレ、キッチン、洗面台がすべて揃っています



農学部 生物生産学科 2年
真野菜々子さん
神奈川県立湘南高校出身
「セキュリティ万全なので、両親も『学生寮ならOK』とひとり暮らしを許可してくれました。男女別のフロア、全室個室なのでプライバシーも守られて安心です」

本棚と冷蔵庫があれば、新生活をスタートできます!



ランドリー設備も完備 各フロアには、自由に使えるコミュニティルームがあります

大学ウェブサイト

東京農工大学のウェブサイト大幅リニューアル!

より見やすく、目的の情報に即座にたどりつくよう、シンプルなウェブサイトを目指しました。ドローンを使用して空撮した両キャンパスの映像は必見です。



受験生向け特別サイト

受験生の気になるキャンパスライフ情報を大公開!

研究室やサークル、農工大生の1日の様子、活躍する卒業生など、学生生活の情報をご紹介します。受験生の皆様へ向けた情報もご覧いただけます。



Facebook

学生の活躍やイベント情報、先生のメディア出演予定をお知らせします!

学生の研究成果が評価され、学会などで表彰を受けた報告や、教員の研究がマスコミで取り上げられた情報など、見どころ満載でアップしていきます。ぜひご覧ください!



Twitter

@TUAT_all 東京農工大学の“今”をつぶやきます!

プレスリリースやイベント情報、サークルの活動、卒業生の近況など、バラエティに富んだ内容でつぶやいています。



表紙写真

工学部 電気電子工学科
久保若奈研究室

研究テーマはナノサイズの金属構造体による太陽光の制御。特異な光学特性を持つメタマテリアルを設計・作製し、電子デバイスを高効率化していきます。

東京農工大学基金のご案内

東京農工大学では創基140周年を迎えた2014年に、東京農工大学基金を創設しました。この基金は学生の留学支援など国際交流事業の強化や教育・研究の充実のために有効に活用してまいります。皆様のご支援とご協力をお願いいたします。 <http://www.tuat.ac.jp/pickup/fund/index.html>

TUAT Express

この冊子は最近の東京農工大学の活動をお伝えするものです

2017-2018

工学部 電気電子工学科 久保若奈研究室の皆さん



CONTENTS

- 活躍する卒業生
- 研究室教育
- キャンパスライフ
- 就職実績
- 大学教育改革

最先端で活躍する農工大卒業生

活躍する
卒業生

東京農工大学で学んだ卒業生たちは、学術研究分野のほか、産業界など社会で広く高い評価を受けています。第一線で活躍する卒業生2名に話を聞きました。

Agriculture

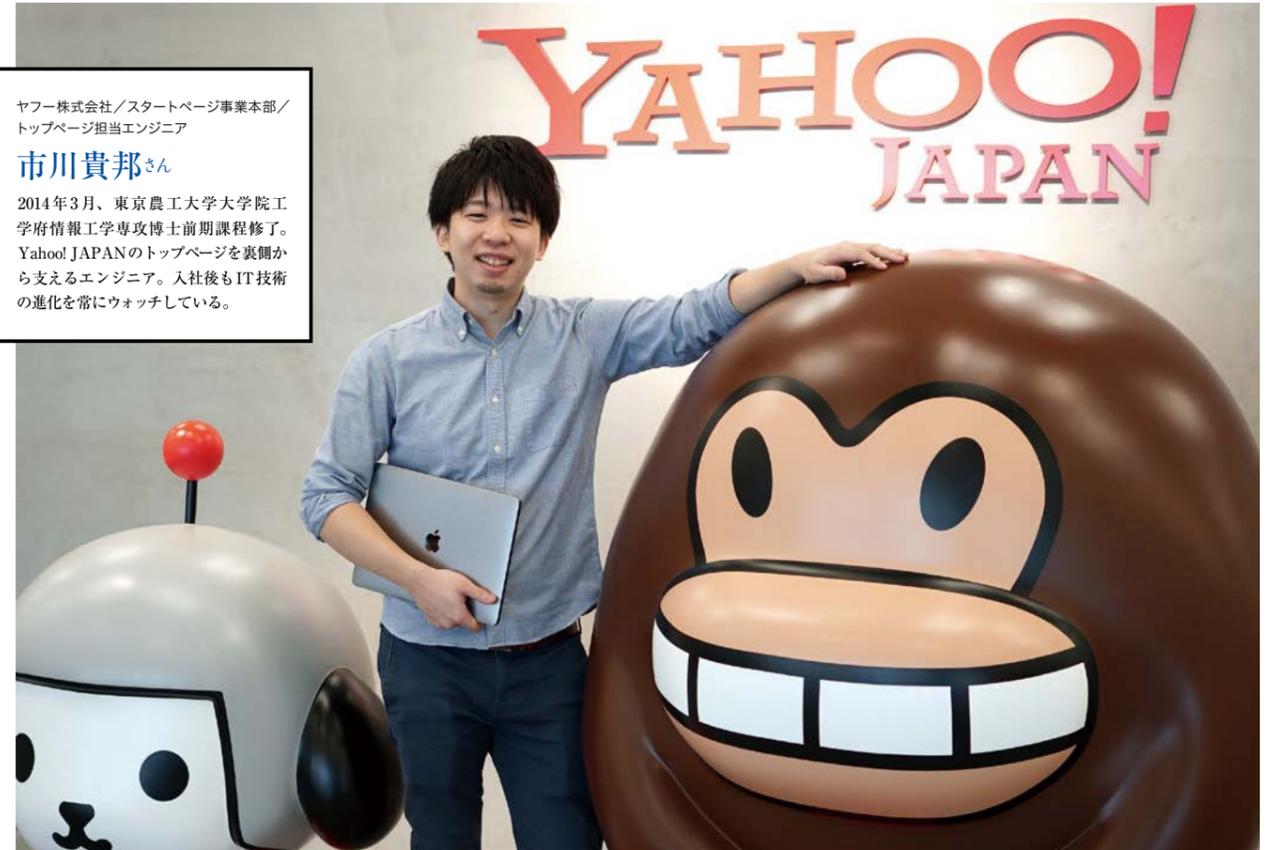


農研機構中央農業研究センター北陸研究拠点/
主任研究員/博士(農学)

加藤 仁さん

2004年3月、東京農工大学大学院連合農学研究科農業環境工学専攻博士課程修了。現在は中央農業研究センター北陸研究拠点で、トラクターや田植え機、コンバインなどの農業機械・作業技術に関する研究に取り組んでいる。

Technology



ヤフー株式会社/スタートページ事業本部/
トップページ担当エンジニア

市川 貴邦さん

2014年3月、東京農工大学大学院工学府情報工学専攻博士前期課程修了。Yahoo! JAPANのトップページを裏側から支えるエンジニア。入社後もIT技術の進化を常にウォッチしている。

情報・通信技術を利用して農業の発展に貢献する

北陸地域における水田輪作での農業機械や作業技術に関する研究を行っています。具体的には、GNSS（全球測位衛星システム）情報を利用して、田植え機やトラクターの自動運転を行う技術や、コンバインのICT化に関する技術開発に取り組んでいます。農業従事者の高齢化や人口減少が進んでいる現在、こうした情報・通信技術を活用することで、経験の少ない若手でもベテランと同じクオリティで播種・収穫の作業ができるようにすることが目的です。

研究開発を行った技術や試作機は、実際に農作業の現場で実証試験を行います。そこで、さらにデータを収集して改良を重ね、最終的には農業の現場に開発した技術を導入し

てもらうことが目標。農作業を効率化する技術を世の中に普及させ、農業の発展に貢献していくことが、自分の使命だと思っています。

農業との出会いは、東京農工大学在学中に自主ゼミ「耕地の会」に入ったことがきっかけでした。大学近隣の畑を借りて、自分たちで考えながら麦や枝豆などを育てているうちに、農作物の生産に興味を持つように。就農した卒業生のもとでファームステイをしたり、農繁期には全国各地の農家に手伝いに行ったりと、在学中から農業の現場を体験する機会に恵まれていました。

研究室では、糞尿などの廃棄物の処理過程で発生する臭気から有用成分を取り出し、肥料成分として活用する研究に取り組みました。

現在とは研究分野こそ違いますが、試行錯誤しながら実験方法を考えたり、装置や測定器のプログラムをつくって改良を重ねていったりといった経験は、私の研究活動のベースになっています。

高校生のみなさんには、できる限り興味の幅を広く持ってほしいと思います。私自身、大学に入学した頃は農業のことをまったく知りませんでしたが、「何となく面白そうだ」と思ってチャレンジしているうちにどんどん興味が深まり、卒業した今でも研究を続けています。さまざまな分野に興味を持ち、自分の好きなことを見つけたら、それに向かってとことん頑張っておきたいですね。

Yahoo! JAPANを最新技術で支える

Webエンジニアとして、Yahoo! JAPANのPCブラウザ用トップページの開発を担当しています。主な仕事は、トップページの改善です。あまりお気づきではないかもしれませんが、Yahoo! JAPANのトップページは日々変化を続けているのです。そのほか、特殊な機能の組み込み作業から保守・運用まで、ほぼ全般を担当しています。最近では、チーム全体の業務を効率化する「システム自動化ツール」の開発など、リーダーとして組織をまとめる仕事も増えてきました。

この仕事の面白さは、とてつもない数のユーザーに向けて情報を発信できることです。毎日多くの方がご覧になっている分、影響力は強く、常に注目を集めます。トップページ

のデザインを改善する際も、現状と同じ価値を提供しながら、ユーザーに新しい価値を提供し続けなければなりません。例えば、今は動画というリッチメディアが中心の時代に、Yahoo! JAPANとしてどのような体験をユーザーに提供できるかを考えています。

東京農工大学在学中は、近藤敏之教授の研究室で学びました。私はここで衣服のコーディネートを表示するプログラムの開発に取り組みました。評価実験では、「衣服単体」と「衣服を組み合わせたコーディネート例」を順番に表示し、インタフェースデザインがユーザーの行動に及ぼす影響を調査しました。今ではよく見かけるファッション通販サイトのコーディネートアプリの開発に近いですね。

この研究の成果は学術雑誌に論文発表することができました。研究を通して身についたのは、データから得た知見を論理的に伝える力です。毎日ユーザーから得られるデータから、どのような改善を行うべきかを考える今の仕事でも大いに役立っています。ただ、研究内容より印象に残っているのは、研究室で出会ったメンバーの人柄です。先生も先輩も面倒見がよくて、普段はもちろん、就職活動の際にもたくさんアドバイスをいただきました。

今後の社会では、ITの知識がますます重要になるでしょう。農工大には、情報系のユニークな研究室がたくさんあります。気の合う仲間と囲まれながら、最先端の研究に没頭してみるのもいいのではないのでしょうか。

研究室で身につく専門性と社会人力

東京農工大学の学びの拠点はなんといっても研究室。
熱心な教員の丁寧な指導のもとで専門性と社会人力が鍛えられます。

Plant Nutrition

農学部 生物生産学科 植物栄養学研究室

微生物を用いた環境にやさしい 水稲栽培技術を開発

高性能バイオ肥料を用いた水稲栽培の技術開発を行っています。バイオ肥料とは、微生物を使った微生物資材です。一般的な化学肥料は、石油や天然ガスなどの化石燃料を原料としているので、資源の枯渇という意味で環境負荷が高い。そこで、私たちが開発したバイオ肥料と一緒に使えば、化学肥料の割合を減らしても変わらない稲の収量を確保できます。バイオ肥料の有効成分である*Bacillus pumilus* TUAT1株は、東京農工大学の圃場から採取したもの。作物の根の育成を促進する効果があり、現在、東京農工大学で特許を取りました。2017年5月から、全国8か所の圃場で試験的な使用がスタートしており、現在は微生物入り資材「キクイチ」という名称で、全農への登録をめざし、さまざまな地域におけるデータや農家の意見を収集することにより、農業現場で適応できる資材として、最終的な最適化を図っています。



バイオ肥料「キクイチ」を施用した水稲育苗の効果
右が「キクイチ」施用



農学部 生物生産学科

横山 正 教授(右)

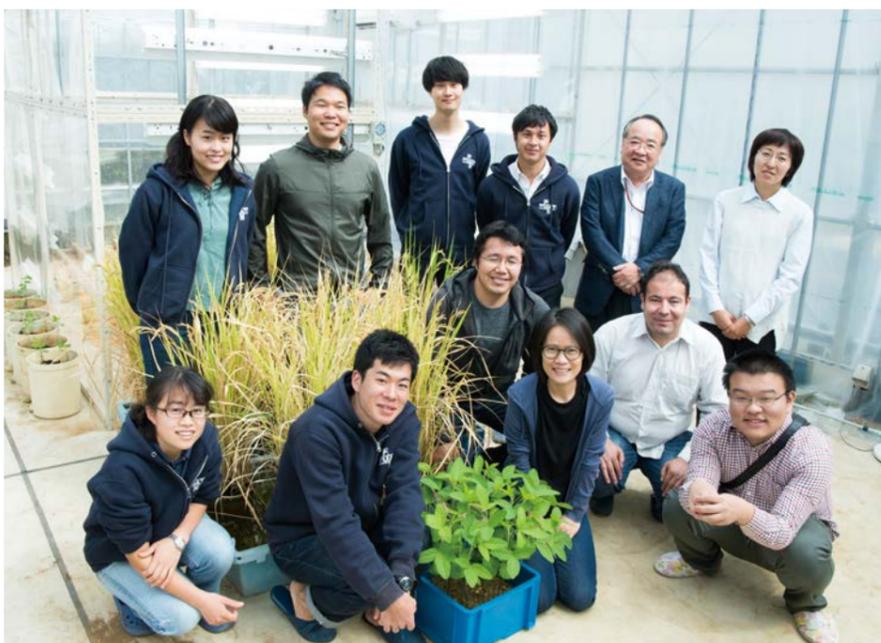
東京大学農学系研究科博士課程修了。
農学博士。

大津直子 准教授(左)

東京大学農学系研究科博士課程修了。
農学博士。

また、研究室には、バイオ肥料の成分である外来の微生物が圃場でどのような動きをするのかを分析するチームもあります。分子生物学をベースに微生物の遺伝子を解明し、作物の育成促進に役立てます。この分析チームは、マメ科植物の肥料をテーマにしたドイツの研究機関との共同研究なども行っています。実習では、学生たちと福島県内の圃場で、

バイオ肥料「キクイチ」を用いた飼料用米の栽培を行っています。現場で自然と対峙しながら、メンバーと力を合わせて、実験の段取りを行うことで、社会に出て役立つ研究の“総合力”を養ってほしいと思います。研究室の卒業生たちは、公務員として全国の農業現場を支える仕事のほか、肥料メーカー、食品メーカーなどでも活躍しています。



府中キャンパス内の植物工場でもバイオ肥料「キクイチ」を使って試験的に水稲を栽培しています

Synthetic Organic Chemistry

工学部 有機材料化学科 / 有機・高分子電子材料分野 / 中野研究室

有機合成化学で「ものづくり」に挑む！

研究キーワードは、有機化学を用いた「ものづくり」です。もう少し詳しくいうと有機合成化学、高分子合成化学を基盤とした「有機機能性材料」の創製に取り組んでいます。研究テーマの柱のひとつは、二酸化炭素を用いたプラスチックの開発です。枯渇する化石燃料の代わりに、自然に豊富に存在する二酸化炭素を使って、今や生活に不可欠なプラスチックをつくることができれば、環境にやさしいのはいうまでもありません。

実験では、二酸化炭素由来プラスチックの化学合成をするための金属触媒の開発や新しい機能を付加した材料の開発にも取り組みます。また、企業との共同研究も盛んで、国内化学メーカーと共同で製品化をめざして研究しています。ほかに有機半導体材料や有機発光材料の開発も行っています。有機材料は軽



研究室で開発した有機発光材料

量でフレキシブル(曲がる)という特徴があり、有機ELディスプレイに用いれば、局面に貼りつけられるテレビやモニターが実現できます。有機合成化学の研究の面白いところは、原子一つひとつの0.1ナノメートルオーダーの結合を自分で設計して自在に操り、思い通りの機能を持たせられること。新規材料を開発するだけでなく、デバイス応用の研究などに



いつも賑やかな雰囲気の中野研究室。工学部ながら約半数が女子学生です！



工学部 有機材料化学科

中野 幸司 准教授

京都大学大学院工学研究科材料化学専攻博士後期課程中退。工学博士。専門は、高分子化学、有機合成化学、機能物質科学ほか。2012年から東京農工大学で指導にあたる。

も研究を展開していて、基礎化学から応用化学、応用物理学までを一貫して学べるようにしています。ここで身につけた専門知識は、企業からのニーズも高く、研究室の卒業生たちは、化学メーカーはもちろん、自動車メーカー、食品メーカー、ゴム(タイヤ)メーカー、石油会社など幅広い分野の企業に就職しています。

大学院農学府
生物生産科学専攻 修士2年
元木 太郎さん
私立帝京大学高校出身
茶園における肥料形態や害虫活動と葉内成分の関連性について研究しています。就職先の農林水産消費安全技術センターでは、肥料や農薬の検査を通じて、農業全体の安全に貢献したいです。

大学院農学府
生物生産科学専攻 修士2年
竹内由季恵さん
私立光塩女子学院高等科出身
バイオ肥料で使われる微生物の分析を行っています。在学中から農業・食品産業技術総合研究機構(農研機構)や肥料メーカーとの共同研究を経験でき、就職先も農研機構に決めました！

大学院農学府
生物生産科学専攻 修士1年
安掛真一郎さん
国立茨城工業高等専門学校出身
福島県内の圃場で栽培する新規飼料用米に対するバイオ肥料施用効果の評価をしています。高専では化学を専攻していたので、農学と化学の融合領域で新たな研究テーマを見つけたいです。

工学部 有機材料化学科 4年
青木素大さん
神戸市立工業高等専門学校出身
「ヘリセン」という分子を側鎖に入れた高分子をつくっています。六角形のベンゼン環が連なったヘリセンは、構造的にも面白く、新たな特性が見つかるのではないかと期待しています。

大学院工学府
応用化学専攻 博士前期2年
中嶋祐里さん
私立國友学園女子高校出身
特殊な発光特性を示す新規有機化合物の合成に取り組んでいます。成功すれば、3Dディスプレイに応用できます。内定ももらったタイヤメーカーでも研究の経験を活かしたいと思います。

大学院工学府
応用化学専攻 博士後期2年
平野井 陽さん
国立東京工業大学附属科学技術高校出身
二酸化炭素由来のプラスチックを合成するための金属触媒を開発しています。この研究で国際学会での発表も行いました。将来は、繊維系など高分子を扱うメーカーの研究職に就きたいです。

農工大生はサークル活動も全力投球!!

東京農工大学では、共通の興味をもった学生が運動部や文化系サークルなどに集い、アクティブに活動しています。講義や実験と並行して、充実したキャンパスライフを送り、より豊かな人間性を育てている4団体を紹介します。

狩り部

TUAT Hunting Club



在学中に狩猟免許取得をめざしているメンバーもいます！一番左が部長の折原さん。右写真は農工祭で販売する鹿角アクセサリー



リアルな「狩猟」を体験できる 農工大ならではのユニークな部活

農学部 共同獣医学科 3年 折原 快さん

「狩り」つまり、「狩猟」をテーマにした活動を行っています。毎週木曜の部会では、狩猟をする際の森の歩き方や狩猟免許取得の方法について研究しています。狩猟免許を取得している卒業生の先輩に付いて実際に狩猟を見学することもできます。昨年は、奥多摩の檜原村や北海道紋別西興部村で狩猟合宿を行いました。ターゲットは、鹿、アナグマ、イノシシなど。鹿の解体も経験できます。また、解体した鹿の角を使ってアクセサリーをつくり、「農工祭」で販売も行っています。農工大ならではのユニークな部活で、日本の農林水産業を守るために不可欠な活動である「狩猟」について楽しく、真面目に学びましょう！

アメリカンフットボール部 BLASTERS

TUAT American Football Team



勉強に疲れたときは、思い切りぶつかり合ってストレス解消できますよ！「3番」のユニフォームが主将の大塚さん



悲願の2部昇格めざして 楽しく練習に励んでいます！

工学部 情報工学科 4年 大塚 拓さん

関東学生アメリカンフットボール連盟の3部リーグから2部昇格めざして頑張っています！

練習は週に3~4回、工学部のグラウンドで行います。合宿も年2回あります。アメフトのよさは、経験者が少ないため大学からでも入りやすいこと。野球、バスケット、サッカー、水泳など、さまざまなバックグラウンドを持つメンバーがいます。私も高校まで野球部でしたが、体育会系らしい楽しそうな雰囲気を見て、入部を決めました。現在、部員は53名。女子マネージャーも18名います。OBの先輩たちも面倒見がよくて、就職活動の相談にも乗ってくれます。4年生の秋まで現役で試合に出られるのも魅力だと思います。

マイクロ・コンピュータ・クラブ

TUAT Micro Computer Club(MCC)



IT系企業に就職した先輩が遊びに来て、就職活動のアドバイスをくれることも！一番左が部長の源波さん



情報系の大会で国内5位！ プログラミングを究めよう

工学部 情報工学科 3年 源波 陸さん

コンピュータのプログラミングに詳しくなりたい仲間が集まっています。活動内容の中心は、情報系の大会への出場。2017年の「国際大学対抗プログラミングコンテスト(ACM-ICPC)」では、国内予選5位に入賞し、タイやベトナムでのアジア予選出場も決まっています。扱うプログラミング言語は、C++が中心。Java言語を使って、Androidアプリをつくっているメンバーもいます。メンバーは工学部生40名くらい。情報工学科が中心で、女子も7名います。電気通信大学など、他大学の情報系サークルとの交流もあります。プログラミング初心者も大歓迎。パソコン好きならきっと気の合う仲間を探せますよ！

ジャグリングサークル@Jug

TUAT Juggling Club



ジャグリングは海外旅行先や留学先でコミュニケーションツールになりますよ！前列の一番左が部長の文倉さん



ステージのパフォーマンスで 成功する達成感はずまらない！

工学部 応用分子化学科 3年 文倉 篤志さん

ボール、ディアボロ、デビルスティック、ホイ、ハット、クラブ、皿回し……などさまざまな道具を使って、ジャグリングを楽しんでいます。メンバーは男女合わせて約50名。農学部・工学部キャンパス両方の体育館で毎週1回ずつ練習をしています。サークル最大のイベントは、農工祭でのパフォーマンス。地域のイベントにも参加しています。ジャグリングの面白さは、難しそうな技を練習を繰り返すと必ずできるようになること。イベントのパフォーマンスで成功したときの達成感はずまりません！メンバーはほとんど大学から始めた未経験者なので、気軽に練習に参加しに来てください！

就職実績も堅実！農工大生の進路

2016年度実績(2017年5月1日現在)

就職実績

農学部

【生物生産学科】千葉県(2名)、勤労者退職金共済機構、日本政策金融公庫、農林中央金庫、協同乳業、日清オイリオグループ、日清フーズ、アヲハタ、日立システムズ、日本コントロールシステム、HBA、出光アグリ、長印船橋青果、井上誠耕園、アダプティマ、進学／東京農工大学(40名)、東京大学

【応用生物科学科】財務省、東京高等裁判所、横浜市、横浜港湾作業、明治、山崎製パン、科研製薬、シンプレス、ココカラファイン、進学／東京農工大学(63名)、東京大学(2名)、京都府立大学、奈良先端科学技術大学

【環境資源科学科】東京都(2名)、新エネルギー産業技術総合開発機構(NEDO)、第三銀行、富士通、ファーストリテイリング、いなば食品、ホーユー、ヤマハ発動機、大建工業、ノダ、JXエンジニアリング、日本ノーベル、昭石エンジニアリング、ルネサンス、パルシステム東京、曾我の屋農興、都市再生機構、環境再生保全機構、損害保険料率算出機構、進学／東京農工大学(39名)、東京大学(2名)、京都大学(3名)、東北大学

【地域生態システム学科】農林水産省、環境省、林野庁(3名)、警視庁(警察官)、東京都(5名)、神奈川県、栃木県(2名)、山梨県、長野県、愛媛県、横浜市、大分銀行、三井ホーム(2名)、双日建材、日鉄日立システムエンジニアリング、フジタ、星野リゾート・マネジメント、星野リゾート、王子木材緑化、CJ、国土防災技術、マルカン、ミヨシ油脂、十一房印刷工業、川商フーズ、ヨシケイ開発、タクトホーム、日本工営、SMBC不動産調査サービス、スタッフサービスエンジニアリング、多摩大附属聖ヶ丘中学高等学校、俊英館、日本中央競馬会、地方競馬全国協会、本山人地域おこし協力隊、進学／東京農工大学(30名)、東京大学(3名)、京都大学

【共同獣医学科】厚生労働省、農林水産省(3名)、警察庁科学警察研究所、埼玉県、茨城県、横浜市、東レ、オリンパス、ヤクルト、アステラス製薬、興和、大正製薬、科研製薬、大原薬品工業、生化学工業、アニコム損害保険、東京大学動物医療センター、フジタ動物病院、岡部獣医科病院、田中動物病院、千葉西動物医療センターファミリー動物病院、アニマルクリニックイスト、ぶに動物病院、エルムスユナイテッド動物病院、阿佐谷ペットクリニック、アニマルメディカルセンター(川崎市)、コジマ動物病院、暮張ビーンズ・ペットクリニック、日本中央競馬会、特別区競馬組合、千葉県農業共済組合、北海道中央農業共済組合、日本生物科学研究所、阪大微生物病研究会、進学／岐阜大学

農学府

【生物生産科学専攻】埼玉県、栃木県、味の素、ミツカン、日本製粉、小林製薬、味の素ゼネラルフーズ、ユーグレナ、日本コーンスターチ、昭和産業、JA東日本くみあい飼料、三井化学アグロ、片倉コープアグリ、サカタのたね、セイコーウッチ、オープンソース、西松屋チェーン(2名)、アンテリオ、丸善出版、WDBエウレカ、農業・食品産業技術総合研究機構(3名)、全国農業協同組合連合会(2名)、進学／東京農工大学(2名)

【共生持続社会学専攻】農林水産省、東京都、水環境プランニング、日本甜菜製糖、進学／東京農工大学、東京大学、首都大学東京

【応用生命科学専攻】広島市、羽村市、明治、森永乳業、ニチレイフーズ(2名)、ジョンソン&ジョンソン、日本製紙、資生堂、コーセー、ハウスウェルネスフーズ(2名)、丸大食品、タカナシ乳業、物産フードサイエンス、高研、アジレント・テクノロジー、大鵬薬品工業、高砂香料工業、長谷川香料、ADEKA、ダイソーケミックス、CELLINBIO、平山製作所、太陽ホールディングス、メディサイエンスプランニング、ワークスアプリケーションズ(2名)、医歯薬出版、アドバンテック、坂本国際特許事務所、日本食品分析センター、エイツーヘルスケア、カケンテストセンター

【生物制御科学専攻】農林水産省、旭硝子、デンソー、ポッカサッポロフード&ビバレッジ、日本製粉、ヤマザキビスケット、崎陽軒、日本曹達(2名)、東京応化工業、北興化学、石原産業、ADEKA、ダウケミカル日本、アジレント・テクノロジー、ザイエンス、シーボン、大日本除虫菊、ネットワールド、農業・食品産業技術総合研究機構、新日本科学PPD、MICメディカル、ヒューマンサイエンス

【環境資源物質科学専攻】東京都、ヤクルト、三井ホーム、日本電子、共同印刷、東洋インキSCホールディングス、大建工業、キーテック、ヤッホーブルーイング、サンユクテクノスプラントエンジニアズ、アクト・ブレン、ナビタイムジャパン、日本出版販売、全国農業協同組合連合会、進学／東京農工大学

【物質循環環境科学】東京都、横浜市、西東京市、デンソー、JXTGエネルギー(2名)、東芝プラントシステム、東京電力、日清フーズ、日本エヌ・ユー・エス(2名)、ボラス、パシフィックコンサルタンツ、日立情報通信エンジニアリング、テクノプロ、製品評価技術基盤機構、日本海事検定協会、日本下水道事業団

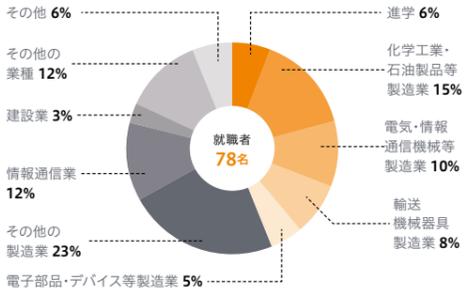
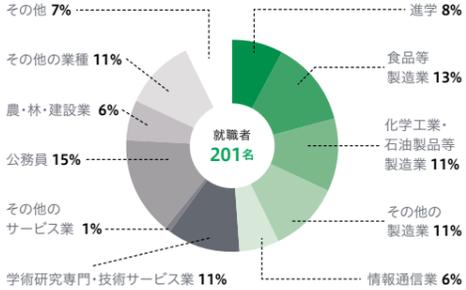
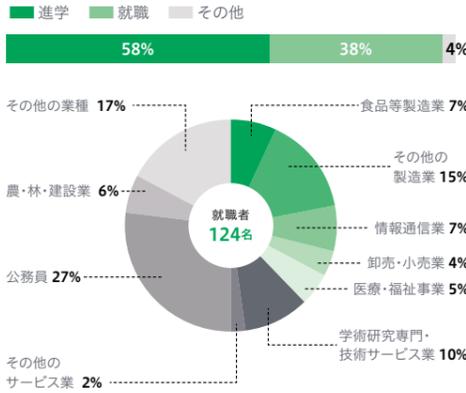
【自然環境保全学専攻】環境省、林野庁(3名)、東京都(2名)、山梨県、愛知県、豊田通商、住友林業、NTT東日本、王子木材緑化、西武造園、社会システム、関東学院大学、東京都立高等学校、東京環境工科専門学校、四国自然科学研究センター、野生動物保護管理事務所、進学／東京農工大学(3名)、酪農学園大学

【農業環境工学専攻】東京都、埼玉県、青森県、農林中央金庫、味の素ゼネラルフーズ、日建ハウジングシステム、CSS技術開発、内外エンジニアリング

【国際環境農学専攻】林野庁、山梨県、日本工営、伊藤忠エネクス、DKSHジャパン、CBC、アサマコーポレーション、勝沼醸造、アンビジョン、OSK、パーク・コーポレーション、国際移住機関、Agriculture Research Center, Egypt, Noor Consult Ltd., Kenya, Tashkent Institute of Irrigation and Melioration, Uzbekistan, Samarkand Agricultural Institute, Uzbekistan, Vietnam Academy for Water Resources, Ministry of Agriculture, Vietnam, Department of Agriculture, MAFF Cambodia(2名)、National Agro-Forestry Fisheries Quality Assurance Department branch4, Ministry of Agriculture and Irrigation, Sudan、進学／東京農工大学(7名)

生物システム応用科学府

【生物機能システム科学専攻】東京都、千葉県、徳島県、日本電気(2名)、クレハ(2名)、ライオン、東洋合成工業、日本触媒、横浜ゴム、アイカ工業、東レ、クラレ、楠本化成、アルビオン、日産化学工業、東レ・ファインケミカル、ダイキン工業、ユニプレス、フジクラ、小松製作所、東京精密、横河電機(3名)、古川電気工業、村田製作所、セイコーエプソン、コニカミルタ、スリーエムジャパン、ソニー、住友電気工業、東芝メディカルシステムズ、日本電気特許技術情報センター、安川電機、富士通、トヨタ自動車(2名)、三井造船、本田技研工業、いすゞ自動車、アイシン精機、いすゞ中央研究所、LIXIL、ゼブラ、資生堂、日本フィルコン、パナソニック、IHJ、ニデック、王子マネジメントオフィス、エヌ・ディー・エスバイオテック、リンテック、前川製作所、生化学工業、Zhejiang Provincial Energy Group Company Ltd.、日立ソリューションズ、NTTデータ、日本コロンビア、シーエーシー、フィードフォース、アクセンチュア、ヤフー、東新システム、伊藤忠エネクス、土木管理総合試験所、NTTファシリティーズ、三井住友銀行、新エネルギー産業技術総合開発機構、みずほ情報総研、VSN、テクノプロ・R&D社、環境管理センター、日本中央競馬会、バン格拉デシュ農業大学、東京農工大学(3名)、味の素、日本ハム食品、フジフーズ、マレーシア高等教育省(文部省)、産業技術総合研究所、進学／東京農工大学(5名)



工学部

【生命工学科】サカタのタネ、秋本食品、セントラルフーズ、ダイヤコーポレーション、ニフティ、日本電気通信システム、東急エージェンシー、シミック、PERITECH International Inc.、進学／東京農工大(62名)、東京大学(2名)、東京医科歯科大学(2名)、静岡県立大学

【応用分子化学科】雪印メグミルク、日本化学工業、三菱マテリアル、本田技研工業、コスモコンピュータシステム、エヌ・ティ・ティ・システム技研、進学／東京農工大学(31名)、東京大学(4名)、東京工業大学(2名)、東京医科歯科大学、京都大学、筑波大学、千葉大学、北陸先端科学技術大学院大学

【有機材料化学科】大日精化工業、三井金属エンジニアリング、セプターニ、進学／東京農工大学(37名)、東京工業大学、北海道大学、首都大学東京

【化学システム工学科】東京都、電源開発、ムサシノキカイ、進学／東京農工大学(28名)、東京大学、東京工業大学

【機械システム工学科】総務省、東京都、鹿児島市、日立金属、丸山製作所、コマツ製作所、オークマ、住友ナコフォークリフト、SOLIZE Products、パナソニック、キヤノン、パナソニックITS、日産自動車(2名)、トヨタ自動車、富士重工業、クニ、カルソニックカンセイ、コトブキシーティング、サーモス、富士通ゼネラル、東京電力、ZAIGEN、ゼネテック、ワールドインテック、メイテック、進学／東京農工大学(103名)、首都大学東京(3名)、奈良先端科学技術大学(2名)

【物理システム工学科】東京都、横浜市、アウトソーシングテクノロジー、住江織物、小坂研究所、東京ウエルズ、東京エレクトロン、東京精密、パイオニア、東洋電装、能美防災、洗陽電機、日本電気通信システム、コナミホールディングス、毎日コムネット、静岡県教員、進学／東京農工大学(29名)、東京大学(2名)、京都大学、東京工業大学、大阪大学、電気通信大学

【電気電子工学科】関電工、小森コーポレーション、日本航空電子工業、三菱電機、三菱工業、プログレス・テクノロジーズ、長野オリンパス、パイオニア(2名)、トヨタ自動車、ヤマハ発動機、SCSK、キヤノンITソリューションズ、島村楽器、電気安全環境研究所、進路／東京農工大学(89名)、東北大学、奈良先端科学技術大学(3名)、北陸先端科学技術大学院大学

【情報工学科】防衛装備庁、静岡県、i-NOS、NTTデータフロンティア、大成、クレスソフト、エプソンアヴァシス、キヤノンITソリューションズ、教育ソフトウェア、ミツイワ、GMO media、ルイダ、わかさ生活、キヤノン、マキタ、進学／東京農工大学(49名)、筑波大学、北陸先端科学技術大学院大学

工学府

【生命工学専攻】雪印メグミルク、オリエンタル酵母工業、ヤヨイサンフーズ、山崎製パン、日本たばこ産業(2名)、キュービー、サンブラネット、J・オイルミルズ、帝人、リコー、凸版印刷、医学生物学研究所、アステラス製薬、花王、東ソー、三井化学、日本カーボン、デンカ、三菱ケミカル、トクヤマ、イハラケミカル工業、ADEKA(2名)、東芝メディカルシステムズ、Meiji Seika ファルマ、SCREENホールディングス、トヨタ自動車、中外製薬(2名)、協和メディックス、日本メナード化粧品、栄研化学、第一三共、杏林製薬、日本製薬、塩野義製薬、小林製薬、ライオン、興和、情報技術センター、OKIソフトウェア、医歯薬出版、NTTデータビジネスシステムズ、正和商事、イーピーエス、あかさき設計、日本製薬、富士レビオ、シミック、イカリ消毒、ワールドインテックR&D事業部、日本ケミファ、みずほ情報総研、東京農工大学、リンテック、日本ライフライン、富士薬品、進学／東京農工大(7名)

【応用化学専攻】財務省、越谷市、東洋エンジニアリング、フジパン、キュービー、サッポロビール、協和発酵バイオ、ロッテ、富士紡、きもと、凸版印刷、プリチストン、寺岡製作所、ちふれ化粧品、イハラケミカル工業、三井化学、ADEKA、コニシ(2名)、東ソー、住友化学(2名)、キャタラー、プリチストン(2名)、小松精練、ニチアス、JSR、旭ダイアモンド工業、リンテック、エイアンドティー、東洋製罐、タイカ、川澄化学工業、小川香料、パイロットインキ、三菱ガス化学、カーリットホールディングス、三菱ケミカル(3名)、コニカミルタ、東タイ、中外製薬、花王、JXエンジニアリング、東レ、三菱レイヨン、ニイタク、日本軽金属、デンソー、日本精工、ローム、シチズン電子、日本電波工業、アルプス電気、キヤノン、沖電気工業、リコー、東芝テック画像情報システム、富士電機、日立オートモティブシステムズ、日野自動車、河西工業、ポッシュ、日本製紙、セーラー万年筆、月島機械、東レエンジニアリング、日本エア・リキード、西松屋チェーン、半導体エネルギー研究所、アクセンチュア、テクノプロ・R&D社、テクノプロ、東京農工大学、中華人民共和國教員、アステラス製薬、JXTGエネルギー、三菱日立パワーシステムズ、パナソニック(2名)、GSユアサ、進学／東京農工大学

【機械システム工学専攻】特許庁、竹中工務店、鹿島建設(2名)、JT、JFEスチール(2名)、新日鐵住金、パナソニックファクトリーソリューションズ、日立工機、JFEエンジニアリング、伊藤忠テクノソリューションズ(2名)、ファナック、IHJ、三菱重工業、東洋エンジニアリング、住友重機械工業(2名)、川崎重工業(4名)、オークマ、シチズン時計、パナソニック、カシオ計算機、リコー(3名)、中央電子、三菱電機、ソニー(2名)、横河電機、カワダロボティクス、日立製作所(2名)、古河電気工業、セイコーエプソン、プラザー工業、テルモ、オリンパス、トヨタ自動車、マツダ、日野自動車(3名)、本田技研工業(2名)、富士重工業(2名)、デンソー、ダイハツ工業、プリチストン、日揮プラントソリューション、日揮、エプコ、積水化学工業、太平洋セメント、電源開発、エイアンドティー、鉄道総研、NTTデータ、東日本高速道路、GMOペパボ、ヤフー、日本大学、金沢工業大学、水ing、進学／東京農工大学(8名)

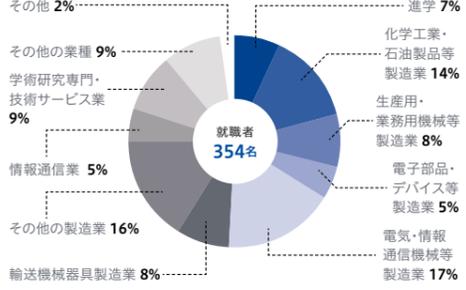
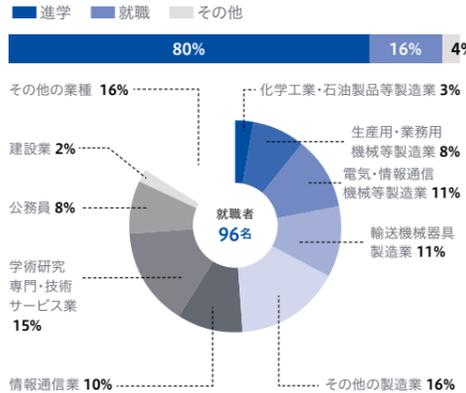
【物理システム工学専攻】新日鐵住金(2名)、住友電装、日本光電工業、IHJ検査計測、タツノ、サンケン電気、浜松ホトニクス、日立パワーソリューションズ、リコー(2名)、横河電機(3名)、日本電気、イーアンドアイ、日立製作所、セイコーエプソン、本田技研工業、プリチストン、能美防災、プログレス・テクノロジーズ、JR東海、進学／東京農工大学

【電気電子工学専攻】NTTファシリティーズ、西松建設、関電工、日本製粉、旭硝子、フジクラ(2名)、古河電気工業、小松製作所(2名)、JR東日本メカトロニクス、TDK、キヤノン、新日本テクノカーボン、ルネサスエレクトロニクス(2名)、日立超LSIシステムズ、ミネベア、アルプス電気、富士電機(2名)、シャープ、アズビル、横河電機(3名)、三菱電機(2名)、セイコーエプソン、富士ゼロックス、リコー(2名)、日本信号、ソニー(2名)、日置電機、ニコン、アイコム(2名)、日本電気、カシオ計算機、日立国際電気、三菱自動車工業、本田技研工業、富士重工業、日産自動車、日野自動車、いすゞ自動車、NOK、東京ガス、中部電力、東北電力、東京電力、北陸電力、アイレックス、KDDI(2名)、富士ソフト、農中情報システム、富士フィルムソフトウェア、インターネットイニシアティブ、日本放送協会(3名)、コプロバ、東京都立産業技術研究センター、みずほ情報総研、進学／東京農工大学

【情報工学専攻】文部科学省、新日鐵住金、ファナック、ダイキン工業、小松製作所、リコー、パイオニア、セイコーエプソン、戸上電機製作所、三菱電機、SUS、いすゞ自動車、本田技研(2名)、トヨタ自動車、日本電信電話、JR東日本(2名)、システムコーディネイト、NTTアドバンステクノロジ、シー・エス・イー、日本アイ・ビー・エム共同ソリューションサービス、エヌ・ティ・ティ・データ先端技術、ヤフー、日立オムロンターミナルソリューションズ、野村総合研究所、Booklive、JR東日本情報システム、ニフティ、インクリメントP、オクトパー・スカイ、富士通ソーシャルサイエンスラボラトリ、データリンクス、STNet、バンダイナムコスタジオ、ワークスアプリケーションズ、リクルートホールディングス(2名)、進学／東京農工大学(5名)

【電子情報工学専攻】NTTファシリティーズ、ラムリサーチ、プログレス・テクノロジーズ、東京農工大学、広島市立大学、東京大学附属病院放射線科

【産業技術専攻】清水建設、カルビー、コスメテックスローランド、日産化学工業、日産アーク、豊田合成、積水化学工業、クレハ、YKK、ヤマハ発動機、松山、ソニー、サンケン電気、トヨタ自動車、住友電気工業(2名)、リコー、安川電機、富士重工業、べんてる、サクラファイナテックジャパン、テルモ、ジャパンマリンユナイテッド、東京ガス、北陸電力、WDBエウレカ、野村総合研究所、大日本印刷、総合警備保障、興亜工業、進学／東京農工大学



農工大のグローバル・コミュニティ

茨城大学、首都大学東京とともに、2014年に文部科学省「大学の世界展開力強化事業」の採択を受けたAIMSプログラム*に東南アジア諸国を中心とした国際的學生交流プログラムの現場の声を届けます。

*AIMSプログラム=ASEAN International Mobility for Students Program.

参加した学生のコミュニティが広がっています。



八王子商工会議所との共催で実施した八王子セミナー。日本人学生と留学生がチームで企業にプレゼン中



「菌学関連の研究を進める」夢に一歩近づいた!

農学部 地域生態システム学科4年 太田 瞳さん (私立国際基督教大学高校出身)

留学先 フィリピン・フィリピン大学ロスバニョス校

海外で「菌学」を本格的に学びたいと考え、AIMSプログラムを利用して、フィリピン大学ロスバニョス校の林学部でキノコや樹病について学びました。特に面白かった科目は「森林菌類学」。キャンパス内にキノコ関連の実習を行える広大な自然保護区があることに驚きました。気候の違いにより、菌種が日本よりも豊富で、それらを10分ほど歩けば採取できる環境は魅力的でした。また、いつでも実験室を自由に使用でき、追加実験をしたり、授業のテーマ以外の実験であっても興味があればやらせてもらえました。おかげで、帰国後スムーズに実験準備に取り掛かれています。今後はフィリピンでの経験を活かして、菌学関連の研究を進めるという夢に向かって積極的に勉強したいです。



現地での本格的な実習の様子

農学部

セメスター留学



アジアのローカルフードを日本で商品化してみたい!

農学部 応用生物科学科4年 高澤理子さん (神奈川県立川和高校出身)

留学先 インドネシア・ボゴール農科大学

高校時代から留学に憧れていたため、東京農工大学で経済的にサポートのあるAIMSプログラムを見つけて、「コレだ!」と思いました。約5か月間のセメスター留学で訪れたのは、インドネシアのボゴール農科大学。ここで、日本で学んできた「生化学」をベースに、興味のある食品科学を学んでみたいと考えました。印象に残っているのは、イスラム教徒の食事「ハラール食」の認証の取り方についての授業。イスラム教のことを深く知ることで、現地での日常生活がより身近なものになりました。この留学をきっかけに、食品の特性を活かして、新たな価値を生み出す仕事に興味が出てきました。タピオカやマンゴーなどを使ったアジアのローカルフードを日本風にアレンジして、商品化してみたいですね。



現地で日本の浴衣とインドネシアの民衣装の共演

農工大の大学院に進学する夢ができた!

Nita Mauliawati

インドネシア・ボゴール農科大学在学中

教授の紹介で、AIMSプログラムを知り、東京農工大学に留学しました。母国では、「農業工学/Agricultural Engineering」を専攻しています。研究テーマは、「パームオイルのプランテーションにおける収穫の効率化」。将来もこの分野の仕事をしたいと思っています。そのためにも日本の大学院に進学して、さらに「農業効率化」の知識を深めたいと思っています。できれば、農工大の大学院に留学できるのがいいですね。



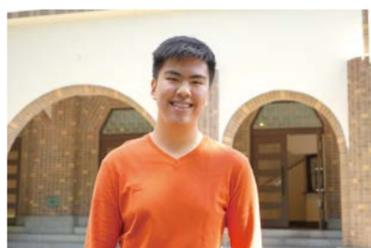
海外からの留学生

農業コンサルタントとして起業したい!

Raniel Joseph Miranda

フィリピン・フィリピン大学ロスバニョス校在学中

AIMSプログラムに参加した先輩が、「TUATがいい!」と言っていたのを聞き、留学先に決めました。農学部の府中キャンパスは、母国の大学とのどかな雰囲気がとても似ていると思います。現在は、「農業経済学/Agribusiness Management」を学んでいます。なかでも興味があるのが養豚業。今回、日本の農業に関する英語のレクチャーを受け、さまざまな発見がありました。農業コンサルタントとして起業するのが将来の夢です。



工学部

[AIMSプログラム]

「バディ」活動レポート



工学部AIMSバディは、国際交流に興味があり、積極的に留学生のサポートを行う学生団体です。参加学生は代表学生のもと、「タンデムパートナー」「フードサイエンス」「イベント」「広報」チームに分かれて活動を行います。

フードサイエンスチーム

工学部 機械システム工学科 2年

泉川 健さん (International School Manila出身)

留学先 タイ・キングモンクット工科大学トンブリ校

AIMSプログラムでは、フードサイエンスチームのリーダーをやっています。イスラム教圏の国々からやってきた学生のために、学食にハラールフードの表示を導入するサポートなどを行っています。高校時代はフィリピンに住んでいたため、もともと英語は得意。1年次にタイ留学も経験して、視野が広がりました。将来の夢は、世界の貧困地域の問題を工学技術で解決すること。現地を知るため、在学中に長期の留学も検討しています。



広報チーム

工学部 情報工学科 2年

高橋唐樹さん

(山梨県立甲府南高校出身)

AIMSプログラムに参加したのは、高校の先生から留学生との交流をすべきたとアドバイスを受けたから。担当する広報チームでは、TwitterやFacebookといったSNSを使って、AIMSの活動報告や新入生募集をしています。留学生たちに電車の乗り換え方法を教える動画作成なども行います。AIMSで留学生と交流することで英語力が上がっているのを感じます。在学中に留学生たちが学ぶアジアの国々を訪れてみたいですね。

イベント(Hightech Japan)チーム

工学部 電気電子工学科 2年

吉田周平さん

(東京都立八王子東高校出身)

大学に入学したら絶対に留学や国際交流がしたいと考えていて、先輩に紹介されてAIMSプログラムに参加しました。私が担当する「Hightech Japan」チームは、留学生と日本人学生がチームを組んで、グループごとに日本の「最先端科学技術」についてリサーチを行い、企業訪問をします。留学生の学ぶ姿勢や発想のユニークさに刺激を受けています。



タンデムパートナーチーム

工学部 物理システム工学科 2年

武末葉奈さん (私立駒友学園女子高校出身)

留学先 タイ・キングモンクット工科大学トンブリ校
オーストラリア・ニューサウスウェールズ大学

高校時代から留学に興味があったので、1年次からAIMSプログラムに参加しています。担当しているのは、タンデムパートナーチーム。留学生の来日時のサポートや宿舎の紹介をする役割で、日本での生活に関する質問にも英語で対応します。私自身も1年次にタイで2週間、オーストラリアで2週間の留学を経験し、英語力に自信ができました。在学中に長期留学をして、海外の研究室で自分の専門知識を深めたいです!

イベントチーム

工学部 電気電子工学科 2年

森 滉介さん (東京都立三鷹中等教育学校出身)

留学先 マレーシア・マレーシア日本国際工科院
タイ・キングモンクット工科大学トンブリ校

AIMSプログラムの学生代表とイベントチームのリーダーを担当しています。留学生向けのウェルカムパーティや観光地への小旅行企画のほか、八王子セミナーのような地域企業との交流イベントも企画します。自分も1年次にマレーシア、2年次にタイへの留学を経験。タイでは日系自動車メーカーの工場を見学できました。在学中に長期留学を経験して、海外の研究者としっかり議論できるレベルの英語力をつけたいと思っています。



イベント(八王子セミナー)チーム

工学部 機械システム工学科 2年

三上智勇さん (山梨県立都留高校出身)

留学先

マレーシア・マレーシア日本国際工科院
タイ・キングモンクット工科大学トンブリ校
八王子セミナーの運営を担当しています。今年も21社の地元企業に協力いただきました。留学生と一緒に日本のハイテク技術を支える企業の研究現場を見学し、最後には企業に向けて新しい製品のアイデアを英語で発表します。留学生たちは、日本人には想像もつかないようなアイデアを出してくることもあり驚かされます。私も1年次にマレーシア、2年次にタイでの留学を経験しました。

工学部 機械システム工学科 2年

弘田智美さん

(私立十文字高校出身)

AIMSプログラムには、学部2年次から参加しています。担当は、八王子セミナーチーム。協力いただく企業の方とEメールや電話のやりとりをして、留学生が見学に来れる日程の調整などを行っています。また、企業の方が大学を見学する際の案内も担当するので、社会人としてのマナーや敬語が身につきました。農工大は研究室に留学生がいるのが当たり前のので、しっかりコミュニケーションができるように英語力を鍛えたいです。